

第10回 生ごみリサイクル交流集会 in 多摩 2018

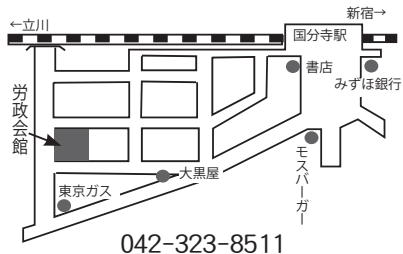


生ごみを地域で活かそう！
地域の資源循環ネットワークをつくらう！

6月9日(土)
13:30~16:30

国分寺労政会館
■ 3階・第3会議室

中央線・西武線 国分寺駅南口徒歩5分



生ごみ分別収集をしたり、計画を立てている行政が増えてきました。市民レベルで生ごみを資源活用している団体も地域に広がっています。

都市部での生ごみ堆肥化は難しいと考えられていますが技術革新も進み、ごみの資源化の実現への道すじが見えてきました。市民と行政が連携し、ネットワークを構築していくことで生ごみ資源循環の環を地域に広げていきましょう。

資料代：500円

申し込み不要。
直接会場へどうぞ！

主催 生ごみ・環境ビジョン21
「生ごみリサイクル交流集会実行委員会」*
*多摩地域各地で活動している市民で構成

生ごみ・環境ビジョン21

〒184-0013 東京都小金井市前原町4-11-15 井上芳
tel:080-9291-3623 fax:042-383-1668
e-mail: gomikan21@docomo.ne.jp

川崎市

ダンボールコンポストを軸に
「たのしい循環生活」
をすすめる

環境を考え行動する会
代表 天野悦子さん



たのしい
循環生活

生ごみを大切な資源として循環させる LOCAL FOOD CYCLING！資源化100%の仕組み作りが、今、福岡で試行中です。私たちはダンボールコンポストの普及活動を10年続けてきましたが、今年は「生ごみ堆肥を使った菜園講座」に挑戦します。

八王子市

八王子市の生ごみ資源化対策と、
ダンボールコンポストの
普及活動



八王子市生ごみリサイクルリーダー
赤木省三さん

生ごみ資源化施設による生ごみ処理は大きなコストがかかるため、八王子市は、生ごみ資源化では市民と一体となって各家庭での自家処理を推進しています。生ごみリサイクルリーダーによるダンボールコンポストの普及活動の現状を紹介します。

日野市

教育現場で広がる
「生ごみリサイクル
菌ちゃん野菜作り」



ひの・まちの生ごみを考える会
代表 佐藤美千代さん

日野市では「命の循環」を学ぶ幼児教育の一環として、生ごみで野菜を作る活動が幼稚園や保育園などで広がっています。当会は、そのきっかけ作りとサポートを行っています。今年は公立幼稚園の先生方による取り組み報告会を行いました。

事業者

食品ロス削減に向けた
企業の取り組み



(株)セブン&アイHLDGS.
総務部 廃棄物・資源リサイクル
藤乗 照幸さん

食品ロスの削減は、食品関連企業として最も優先すべき取り組みです。当社が取り組んでいる食品ロスの発生抑制、賞味期限切れ前食品の寄付、残渣の肥料化・飼料化によるリサイクルループについて説明します。

事業者

食品廃棄物の飼料化と
ループリサイクルの
取り組み



(株)日本フードエコロジーセンター
代表取締役
高橋 巧一さん (獣医師)

小田急グループの企業です。食品工場、スーパー、百貨店等から日々排出される大量の食品廃棄物を殺菌、発酵処理し、液状の飼料化を行っている流れや、その飼料で肥育された豚のブランド化までの取り組みを紹介します。